

# 全面禁煙の取組

近年、全面禁煙への取組が広がってきています。全面禁煙を実施するためには、経営トップが決断するとともに、衛生委員会などで労使の合意を形成し、ルールを策定しその周知と徹底を図り、社内報やポスターによる情報提供や労働衛生教育を繰り返し行い、経営トップ、管理者及び労働者が全員参加で取り組むことが重要です。さらに、対策の継続のためには、全面禁煙の効果を数値データ（喫煙率、疾病休業率等）で把握することも効果的です。また、全面禁煙の円滑な実施のためには、喫煙者の禁煙を支援する「禁煙サポート」を行うことも効果的です。

## 全面禁煙のメリット

全面禁煙は受動喫煙防止に最も効果的な方法です。

- ★たばこの煙やにおいのない、空気環境がきれいな職場になります。
- ★禁煙者が増加し、喫煙者の喫煙本数も減少し、休業率の減少、仕事の効率が上がるなどの効果が期待できます。
- ★費用がかかりません。（喫煙室の設置、維持管理、空調の熱損失などの費用が不要）
- ★全面禁煙に取り組んでいることで会社のイメージの向上につながります。



禁煙宣言モニュメント

## 敷地内全面禁煙

敷地内全面禁煙は、建物内を含め敷地内全体を禁煙とするものです。喫煙者は昼休み等に敷地外の喫煙可能な場所で喫煙することになりますが、吸殻を捨てないこと、外部の人に迷惑をかけないこと等について十分教育を行うことが必要です。

## 建物内全面禁煙

建物内全面禁煙は、屋内の喫煙場所を一切なくして建物内はすべて禁煙とするものです。屋外に喫煙所を設ける場合には、付近を通る人の受動喫煙に配慮するとともに、たばこの煙が出入口等から屋内に流れ込まないように、建物の出入口等から十分に離れたところに設置することが必要です。



構内禁煙標識



受付の全館禁煙の表示



建物の出入口等から十分に離れたところに設置した喫煙所